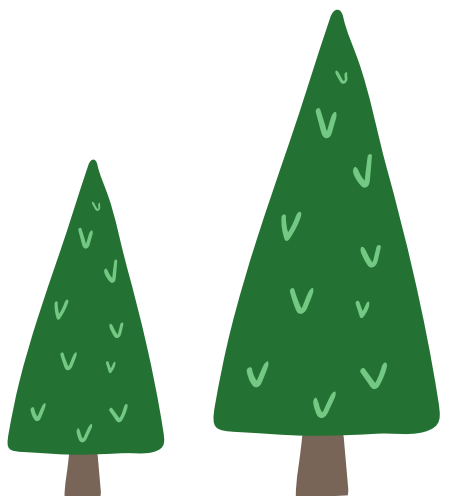


クロストーク

眺めて語ろう
みんなの意見



皆さまの参加動機を眺める

●自治体の皆さま（35人）

自治体の取組事例収集 (%)

企業等の取組事例収集

民間等との繋がり形成

自治体との繋がり形成

活動事例の周知

●企業の皆さま（57人）

自治体の取組事例収集 (%)

企業等の取組事例収集

自治体との繋がり形成

ソリューションの提供

民間等との繋がり形成



皆さまの関心のあるテーマを眺める

●自治体の皆さま（35人）

太陽光発電 (%)

実行計画の策定

省エネ（LED等）

まちづくり（モデル地区等）

木質バイオマス

●企業の皆さま（57人）

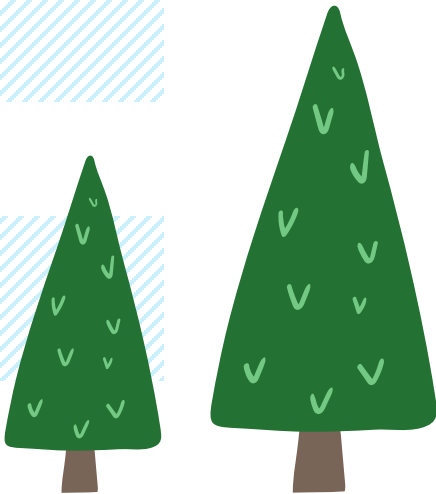
太陽光発電 (%)

水素

カーボンクレジット

まちづくり（モデル築等）

木質バイオマス



皆さまの課題を眺める

● 自治体の皆さま（35人）

取組の優先順位が低い (%)

専門知識の不足

専門人材の不足

人手全般の不足

資金の不足

● 企業の皆さま（57人）

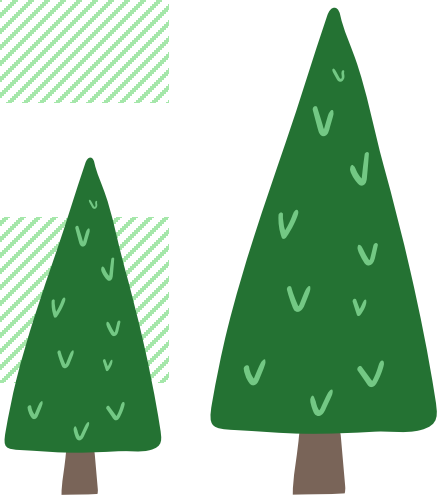
自治体の取組状況が分からない (%)

他企業の取組状況が分からない

補助金申請のハードルが高い

取組の優先順位が低い

専門人材の不足



自治体の皆さまの具体的な課題を深掘る

担当部署が無く異動もあり知識の蓄積が難しい。

計画策定にも着手しているが専門知識及び人材の不足で思うように進まない。

再エネの地産地消を目指したいが地元で脱炭素に携わる会社が無く、検討に至らない。
ポテンシャルはあるが太陽光に限られる。一方、建物の老朽化で屋根置きが難しい。

民間事業者の太陽光パネル工事の不備で、住民より苦情や不安の声が寄せられる。

メガソーラー建設を検討しているが、地域住民との合意形成が難しい。

温室効果ガスは可視化が難しい。可視化できても数字でしか判断できず、
庁内での具体的な推進や地域の巻き込みが困難。



質疑応答

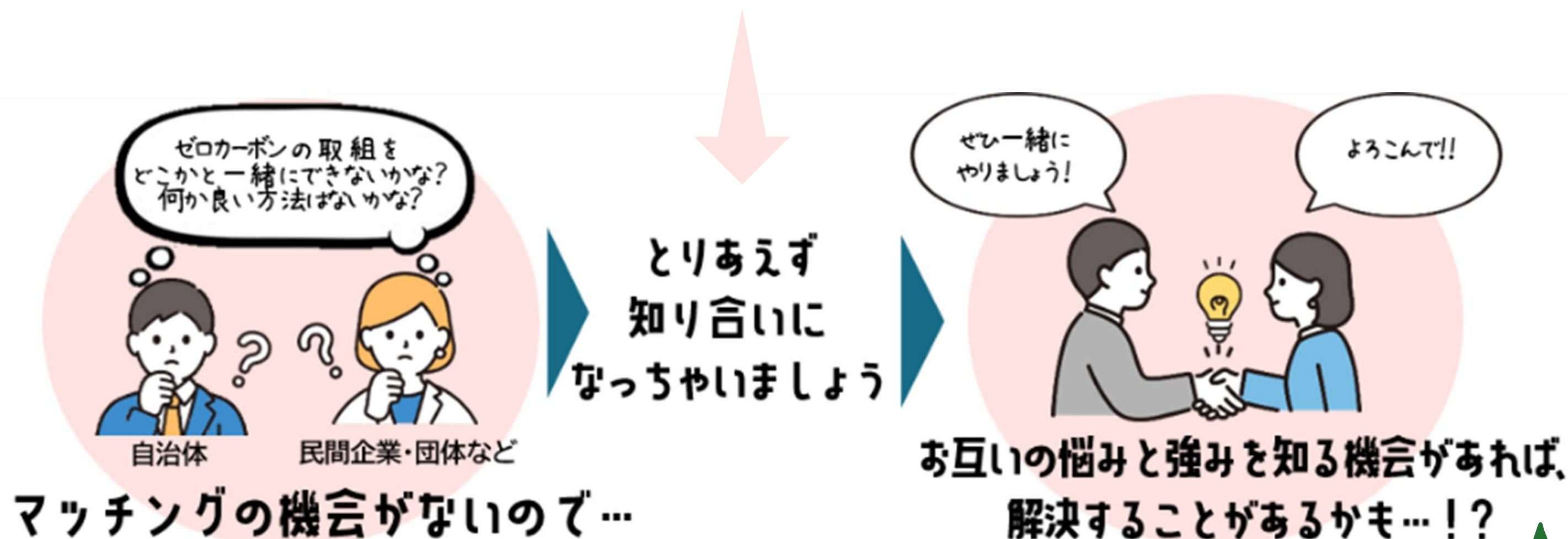
交流会 & ワークショップ

上川で脱炭素を推進するための
自治体と企業の接点をつくる



交流会 & ワークショップの狙い

上川の脱炭素推進に向け、担い手である行政と事業者の皆さまが
対話を通じて、**お互いの理解を深め、共創のきっかけを見出す**



流れの確認

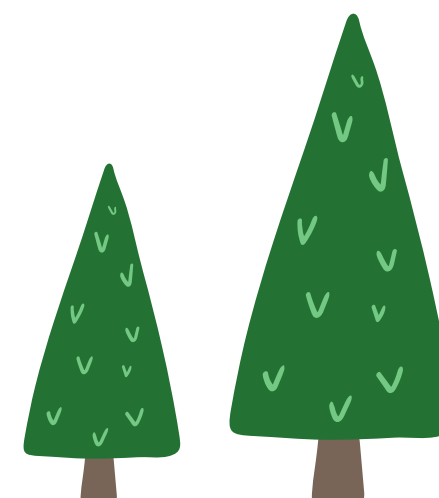
15:20-15:25 進め方のご説明

15:25-15:35 自己紹介タイム

15:35-15:15 ワークショップ

- 「やりたいこと」や「困りごと」を考え、共有する
- 「解決のタネ」や「気づき」を持ち寄り、意見交換する

16:15-16:20 全体共有とコメント



自己紹介タイム

お一人ずつ「お名前・ご所属」に加え「普段のお仕事・ご活動」
「この場に参加した理由」を1分程度でお話してください。

お時間が許せば、ご質問を通して是非ご交流を。

脱炭素について
ご関心をお持ちなことは？

取り組んでいる脱炭素
アクションはありますか？

10
min

ひとりワーク

脱炭素に関連する「取り組みたいことや困っていること」を
思いっくまま記入シートに書き出してみましょう（最大3枚を目安）。

〇〇の取組事例を
収集したい

職員や市民の脱炭素
行動を促したい

〇〇に取り組みたいが
知識不足で難しい

5
min



グループワーク

おひとり一枚ずつ書き出したシートを提示し、共有しましょう。
適宜ご質問を交えながら、理解を深めましょう。

〇〇の取組事例を
収集したい

職員や市民の脱炭素
行動を促したい

〇〇に取り組みたいが
知識不足で難しい

15
min



ひとりワーク

それぞれのシートに感じた「解決のタネ」や「気づき」を
思いっくまま付箋に書き出し、該当するシートに貼り付けましょう。

こうすると
良いかも？
(アイデアの提案)

こんな事例
あります
(事例の共有)

これなら
一緒にできるかも
(共創の提案)

職員や市民の脱炭素
行動を促したい

とても良い内容！
(称賛)

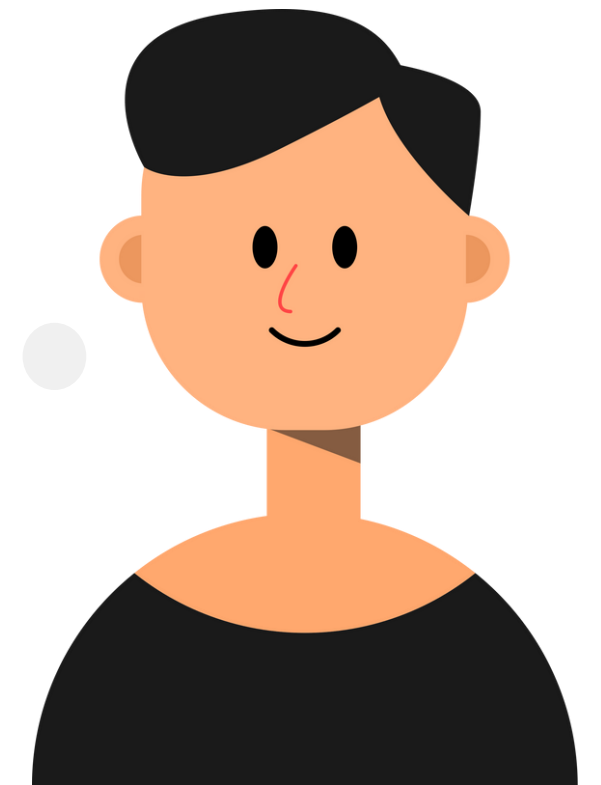
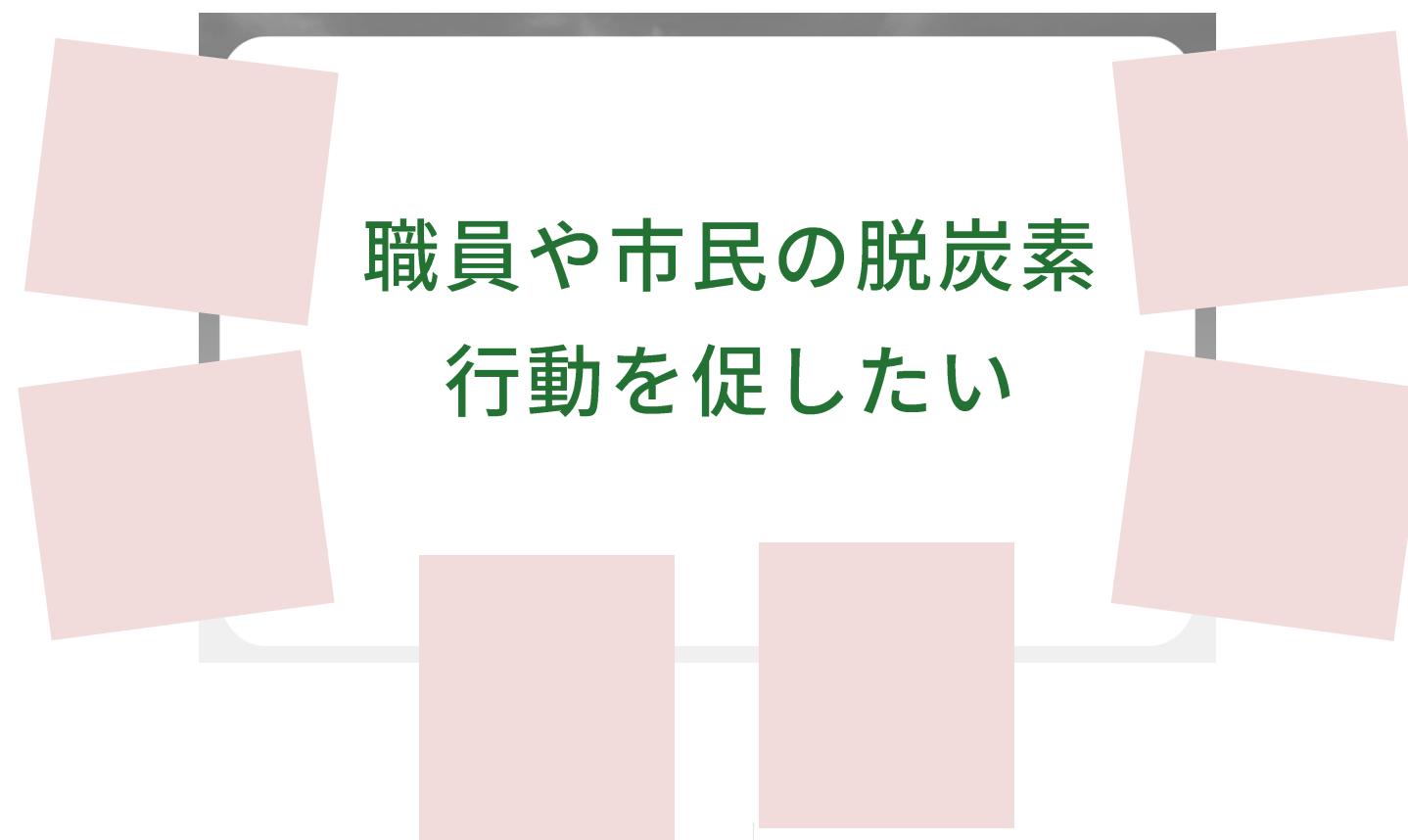
解決策
持ってます
(解決策の提示)

同じ〇〇な悩み
抱えてます
(共感)

5
min

グループワーク

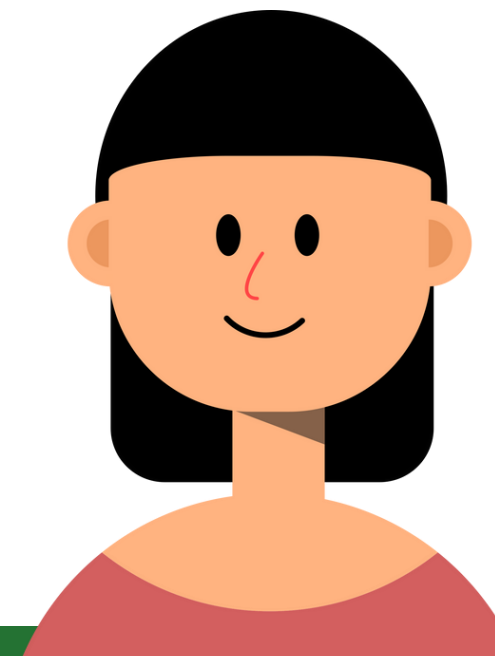
付箋の多いシートから順に、意見交換を進めてください。
付箋の内容を各自説明しながら、対話を通して理解を深めましょう。



15
min

全体共有とコメント

意見交換はいかがでしたでしょうか？
差し支えなければテーブルごとにハイライト
(印象に残った点・議論が深まった点など)
をお聞かせください。



THANK YOU!

あ り が と う ご ざ い ま し た

進行補助の皆さまへ



● 狙いと姿勢

・ 脱炭素に関する自治体と事業者間の交流促進

- ✓ あくまで交流促進であり、結果として共創に繋がる可能性はあるものの、解像度の高いニーズが顕在化している状況ではないため、成果としてのアプトプットは要求しない。
- ✓ 脱炭素の定義を幅広に捉え、緩和のみならず適応も可とする（出ても没にしない）。

● 主な役割

・ 時間配分の管理、問いの提供

- ✓ グループ時、1つの話題や特定の参加者に発言時間が集中しないよう、全体のバランスを見ながら話題・話者の移行を促す。
- ✓ 発言が止んだ場合には状況に応じて問いを提供し、円滑化に努める（例えば自己紹介タイムなら「皆の関心は？皆の実施していることは？質問はあるか？」等）。

進行補助の皆さまへ



● 簡易的な動作メモ

・ グループワーク 1 回目（約15分）

- ✓ 最も伝えたいシートから説明するように促す。記入者が1枚の説明をしたのち、参加者に質問を求め、記入者が返答する。そのサイクルでまず1巡させる。2巡目は残りのシートの説明を行い、時間があれば質問時間にあてる。
- ✓ 提示されたシートは見えるよう陳列する。類似な内容はシートを重ねるなどまとめる。

・ グループワーク 2 回目（約15分）

- ✓ 付箋の多いシートから順に進めるよう促す。付箋の記入者が付箋の内容を読み上げ、該当するシートの記入者が返答することを基本としつつ、テーブル全体を巻き込みながら幅広い意見交換を実施する。ワーク中に新たな付箋記入を促すこともあり。
- ✓ 必要に応じ、進行補助が「気になる内容はあったか？」「皆に質問はあるか？」等の問いを立て、交流の円滑化を図る（付箋の少ないテーブルは早く終わる可能性あり）。